

第三次

多摩市子ども読書活動推進計画

～すべての子どもに読書のよろこびを～

平成30年3月

多摩市教育委員会

はじめに

「読書」がその人の生涯を通じてもたらす恩恵は、実にさまざまなものがあると言えるでしょう。とりわけ身体的、精神的に日々成長している子どもにとって、「読書」とは知的な栄養、刺激であるとともに、時には精神を解き放つ安らぎであり、また未知の世界への扉のようなものではないでしょうか。

子どもたちは、絵本に親しむ時期を経て、自ら文字が読めるようになります。そして文章を読むという行為を通じて、読解力、想像力、表現力を養うとともに、多くの知識を得たり、多様な文化を理解したりするようになります。さらに新聞、図鑑などの資料を読む力を身につけていくことで、知的探究心やそれに伴う行動力を獲得するようになります。

さて、行政機関である国や地方公共団体には、このような子どもの自主的な読書活動の推進に資するため、家庭、地域、学校において子どもが読書に親しむ機会の提供に努めるとともに、施設、設備その他の諸条件の整備、充実に努めていく重要な責務があります。多摩市教育委員会ではこれまで二次にわたって子どもの読書活動推進計画を策定し、子どもが読書活動を行う環境づくりを進めてきました。

子どもたちの置かれている状況は様々です。障がいがある、登校が困難である、印刷物が読みづらい、経済的に本に触れる環境に恵まれていない等、自ら読書をするためには周囲からの支援が必要不可欠な子どもたちに、私たち行政、

学校、周りの大人たちがどのような支援をしていくべきなのかは、これまでも大きな課題でした。

これらの課題を踏まえ、二次までの基本理念である「すべての子どもに読書のよろこびを」を継承しながら、平成30年度からの新たな計画である「第三次多摩市子どもの読書活動推進計画」を策定しました。

第三次計画の策定にあたっては、特に「支援を必要とする子どもたちへ」の取り組みの重要性を再認識するとともに、関連施策の推進には担当する課同士の相互連携が必要なことを鑑み、関連施策を一つにまとめて、これを重点施策に位置づけました。

これから6年間、市立図書館、小・中学校等の教育機関及び関係機関等において、この計画の各施策を推進していきます。各家庭、地域におきましては、保護者の皆様や多くの市民の方々のご理解、ご協力をお願いいたします。

最後にこの計画策定にあたり、アンケートにご協力いただきました多くの児童、生徒、市民の皆様、学校関係者の方々、そして長時間の審議をして下さいました市民連絡会議の委員の皆様に、心よりお礼を申し上げます。

平成30年3月

多摩市教育委員会

目 次

第1章 子どもの読書活動推進の意義と経緯

- 1. 子どもの読書活動の意義 1
- 2. 計画策定の経緯 1
- 3. 計画の位置づけ 1
- 4. 国や都の動向 3

第2章 第二次計画の取り組み状況と課題

- 1. 基本目標、施策ごとの取り組み 4
- 2. 第三次計画策定に向けての課題 7

第3章 多摩市の子どもの読書活動の状況

- 1. アンケート結果から 9
- 2. 学校図書館訪問から 23

第4章 第三次計画策定にあたっての考え方

- 1. 計画の目的 28
- 2. 計画の期間 28
- 3. 基本理念 28
- 4. 基本目標 29
- 5. 計画の対象 30
- 6. 第三次計画策定における視点 31
- 7. 5つの重点施策 31
- 8. 計画の推進 32
- 9. 評価指標（数値目標） 33

第5章 第三次計画の内容

- 1. 計画の体系図 36
- 2. 施策表 38

資料編

1. データ
 - (1) 第二次計画の取り組み実績（施策別） 64
 - (2) 第三次計画策定に向けてのアンケート実施結果 80
 - (3) アンケート用紙 120

2. 法制度等 156
 - ・子どもの読書活動の推進に関する法律
 - ・第三次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」について
出典：文部科学省子供の読書活動推進に関する有識者会議（第1回）配付資料
 - ・第三次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」の概要①②
出典：文部科学省子供の読書活動推進に関する有識者会議（第1回）配付資料
 - ・第三次東京都子供読書活動推進計画について〈概要版〉
 - ・第三次東京都子供読書活動推進計画について〈主な取組〉

3. 第三次多摩市子どもの読書活動推進計画の策定
 - (1) 要綱 167
 - (2) 第三次多摩市子どもの読書活動推進計画策定委員会委員等名簿
. 171
 - (3) 第三次多摩市子どもの読書活動推進計画策定経過 173
 - (4) パブリックコメント実施結果 176